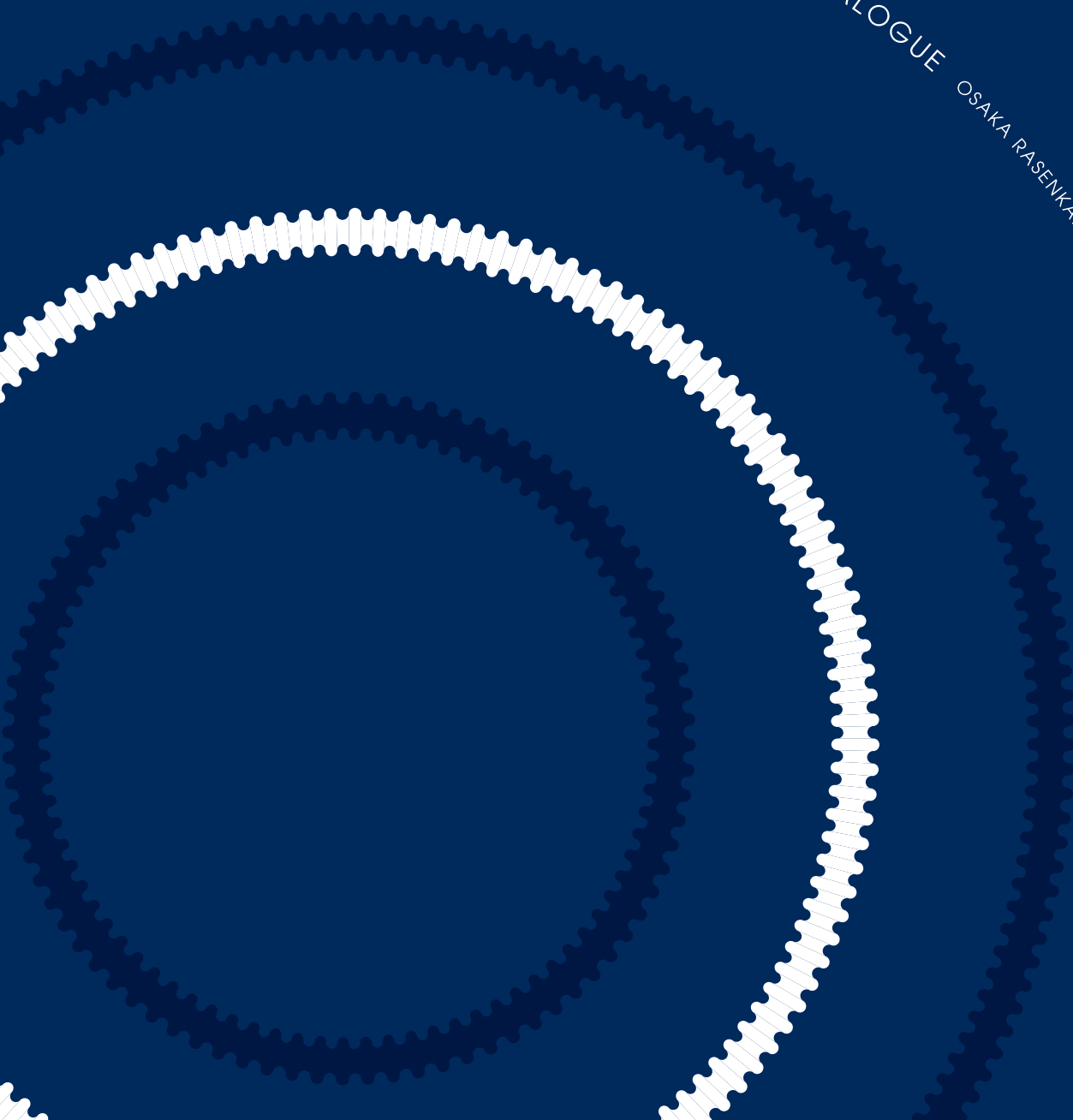




FLEXIBLE TUBE & BELLOWS

TOTAL LINE UP CATALOGUE

OSAKA RASENKAN KOGYO CO., LTD. SINCE 1912



1. 会社概要

COMPANY PROFILE

概要

会社の称号	大阪ラセン管工業株式会社
代表者	代表取締役社長 小泉 星児
創業	1912年 3月
会社設立	1937年12月
資本金	8,000万円
所在地	本社及び大阪工場 〒555-0025 大阪市西淀川区姫里3-12-33 TEL:06-6473-6151 FAX:06-6473-6150 袋井工場 〒437-0056 静岡県袋井市小山1700 TEL:0538-42-4103 FAX:0538-42-0628 東京営業所 〒141-0022 東京都品川区東五反田2-20-4-7F TEL:03-5423-2600 FAX:03-5423-2611 東北営業所 〒980-0014 仙台市青葉区本町1-11-14-6F TEL:022-399-7027 FAX:022-399-7028 九州営業所 〒812-0011 福岡市博多区博多駅前2-12-12-7F TEL:092-452-6611 FAX:092-452-6677

BORK北京宝凱金属軟管有限公司
北京市大興区半壁店北京1286信箱
TEL:+86-10-8923-1222 FAX:+86-10-8923-1227

主な取引銀行

三井住友銀行	：大阪西支店	三井住友銀行	：本店営業部
みずほ銀行	：西野田支店	三菱東京UFJ銀行	：歌島橋支店

主な敷地及び建物

本社及び大阪工場敷地	3,641㎡	袋井工場 敷地	37,382㎡
本社棟	2,382㎡	第1工場	2,475㎡
工場棟	2,923㎡	第2工場	2,900㎡
		第3工場	5,640㎡

営業品目

- | | |
|------------------|-----------------|
| ● フレキシブルチューブ | ● 伸縮継手(ペローズ) |
| ● 振動吸収管 | ● 消防法フレキシブルチューブ |
| ● 消防法ユニバーサル式伸縮継手 | ● テフロンホース |
| ● 各種継手配管 | ● ラセン管 |

各種認定

- | | |
|-----------------------|----------------------|
| ● 日本消防設備安全センター (FESC) | ● フランス船級協会 (BV) |
| ● アメリカ船級協会 (ABS) | ● イタリア船級協会 (RINA) |
| ● 韓国船級協会 (KR) | ● 台湾船級協会 (CR) |
| ● 中国船級協会 (CCS) | ● DNVGL船級協会 (DNV・GL) |
| ● 日本海事協会 (NK) | ● ロイド船級協会 (LR) |

認証取得

- ISO9001 ● ISO14001 ● JIS Q 9100 (航空宇宙Gr.)

COMPANY HISTORY

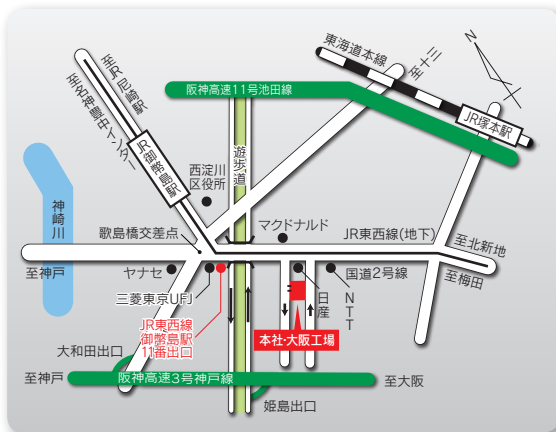
沿革

1912年	3月	大阪市西区新町南通5丁目にて、金属製フレキシブルチューブの国産化に成功し、その製造販売を行う。
1937年	12月	資本金30万円法人設立。
1938年	1月	陸海軍の航空機用部品として、送油用、電装用フレキシブルチューブの80%を生産。
1948年	4月	分散工場を現在の本社工場に統合する。
1965年	12月	資本金2,000万円に増資。
1967年	6月	大阪中小企業投資育成会社より投資を受け、資本金4,000万円とする。
1968年	11月	国際アメリカン学術協会よりアカデミー賞受賞。
1969年	1月	オーストラリアのバルカン社と技術提携し、サイドワインダーダクトの国産化に成功。
1969年	11月	袋井第1工場竣工。
1972年	3月	袋井第2工場竣工。
1978年	5月	アメリカガス協会 (AGA) の認定工場となる。
1980年	12月	超薄肉フレキシブルチューブ[スーパーフリー]の開発に成功し、量産を開始する。
1982年	8月	消防法の適合品として業界初の日本消防設備安全センターの型式認定を取得。
1984年	1月	真空用フレキシブルチューブおよびペローズを開発。
1986年	3月	金属とテフロンを複合させたフレキシブルチューブ[Hybridflex]ペローズ[Hybrid bellows]を開発。
1989年	7月	内面研磨仕様フレキシブルチューブ[Megaflex [®]]を開発。
1990年	9月	断面構造が溶接ペローズと同形状で、柔軟性を追求した成形ペローズ[Pressup bellows [®]]を開発。
1991年	2月	溶接ロボットの採用によりフレキシブルチューブ組立の自動化に成功する。
1991年	9月	ハステロイC-22を使用したフレキシブルチューブ[Hasty-22]を開発。
1992年	6月	袋井第3工場竣工。大口径長尺ペローズの量産体制を確立。
1992年	11月	創業80周年を迎え、記念式典を挙げる。
1993年	9月	第1回私募債発行。
1995年	1月	中国北京に合弁会社“ BORK 北京宝凱金属軟管有限公司”を設立。
1996年	9月	内面研磨、真空二重溶解材使用フレキシブルチューブ[Megaflex [®]]を開発。
1997年	2月	BORK、ISO 9002認証取得。
1998年	3月	資本金8,000万円に増資。
1998年	4月	袋井工場、ISO 9002認証取得。
1998年	6月	袋井工場、クリーンルーム完成。
2000年	1月	免震配管システム、ドッチスリジョイント[Dodge³Joint [®]]を開発。
2001年	4月	当時世界最小のフレキシブルチューブ[3Aスーパーミニフレックス]を開発。
2002年	10月	BORK、ISO 9001認証取得。
2003年	5月	ORK全社、ISO 9001認証取得。袋井工場、ISO 14001認証取得。
2003年	7月	[Dodge³Joint [®]]日本消防設備安全センターの型式評定取得。
2005年	4月	ORK全社、ISO 14001認証取得。
2007年	9月	本社第2工場竣工、クリーンルーム完成。
2008年	12月	袋井工場、真空熱処理炉導入。
2012年	2月	乱流抑制型低振動フレキシブルチューブ[Clear Flow Flex [®]]を開発。
2014年	2月	超柔軟、長寿命フレキシブルチューブ[ワームフリーフレックス [®]]を開発。
2016年	11月	燃料電池自動車 (FCV) 2車種、大阪本社・東京営業所にて運用開始。
2017年	6月	袋井工場、太陽光発電 (0.6MW) 運用開始。
2017年	10月	低反力、長寿命ペローズ[ライトフリーペローズ [®]]を開発。
2018年	11月	JIS Q 9100 (航空宇宙Gr.) 認証取得。
2019年	3月	世界最小フレキシブルチューブ「 マイクロミニフレックス 」を開発。
2019年	5月	福岡県福岡市に九州営業所 開設。
2021年	1月	本社第1工場、新築。
2021年	5月	宮城県仙台市に東北営業所 開設。
2021年	8月	本社機能を本社第2工場へ移転。

●本社・大阪工場

Head office and OSAKA plant

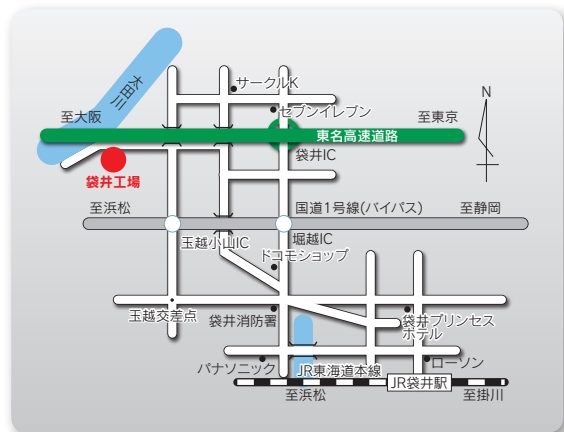
〒555-0025 大阪市西淀川区姫里3-12-33
TEL:06-6473-6151 FAX:06-6473-6150



●袋井工場

FUKUROI plant

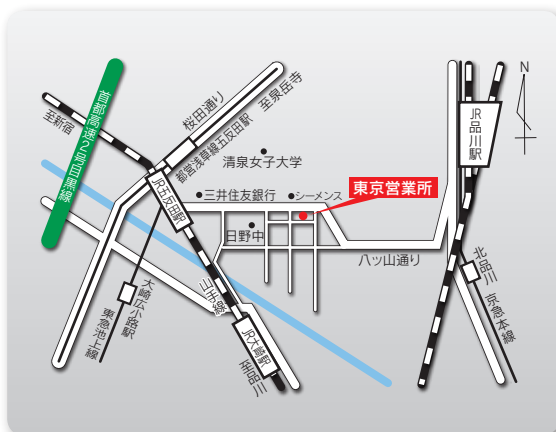
〒437-0056 静岡県袋井市小山1700
TEL:0538-42-4103 FAX:0538-42-0628



●東京営業所

TOKYO sales office

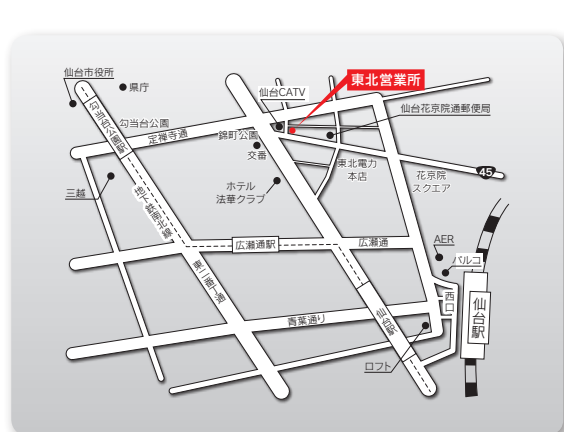
〒141-0022 東京都品川区東五反田2-20-4-7F
TEL:03-5423-2600 FAX:03-5423-2611



●東北営業所

TOUHOKU sales office

〒980-0014 仙台市青葉区本町1-11-14-6F
TEL:022-399-7027 FAX:022-399-7028



●九州営業所

KYUSHU sales office

〒812-0011 福岡市博多区博多駅前2-12-12-7F
TEL:092-452-6611 FAX:092-452-6677



本社・大阪工場



袋井工場



BORK
北京宝凱金属軟管有限公司